

重点目標2 彩り豊かな人づくりのために

個別目標1 生涯学習社会の構築

基本方針

多様化・高度化する学習ニーズに対応し、市民が生涯を通じて主体的に学ぶことができる場づくりを進めるとともに、生涯学習情報の提供と、相談体制を確立します。

また、地域の特色を活かした公民館等の生涯学習施設の充実や活動の促進と、市民の自主的・自発的な学習活動の支援を図り、個々の資質を高め、地域のまちづくりを担う人材の育成を推進します。

10年後のまちの姿

- 多くの人が生涯学習に主体的に参加し、学びの成果を暮らしに活かしています。
- 公民館や図書館が充実し、幅広い年齢層の利用者が増えています。

現状と課題

生涯学習は、「自己の向上と生活の向上を目指す学習」の機会であり、自分に適した手段や方法で生涯にわたって学んでいくことにより、その成果を生活に活かし、自己実現へとつなげていくもので、潤いと充実感のある人生を過ごすためにも、市民一人ひとりの主体的な活動が求められています。

また、まちづくりの基本は人づくりであり、「共創と協働で育む まちづくり」を推進するためにも、生涯学習を通じて、まちや地域の課題を知り地域づくりの担い手となる人材を育成することが求められています。

本市では、これまでも、生涯学習センターや公民館、図書館などを拠点とした生涯学習活動を推進するとともに、「生涯学習サポートバンク」の運用や、「生涯学習推進サポーター」の委嘱、「地域づくり市民企画講座」の開催などにより、まちづ

くりや地域づくりの担い手となる人材の育成に努めてきました。

一方、市民が社会経済情勢の変化に対応していくためには、中高年へのICT講習、子どもや若者の活字離れへの対応などに加えて、災害やネット詐欺などからの自衛手段や介護、医療といった制度や仕組み、さらには子育てや家庭での教育の問題などへの対応方法などについて、一人ひとりが主体的に学習していくことが求められています。

今後は、市民の多様な学習ニーズに対応するため、生涯学習関連施設の整備充実や学習プログラムを充実するとともに、市民主体の指導者の育成、さらには、まちづくりや地域づくりの担い手となる多くの人材の育成を進めていくことが必要です。

まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参考値 (平成28年)
①生涯学習サポートバンク登録数（個人：H18.4.1）	117人	130人	150人
②生涯学習サポートバンク登録数（団体：H18.4.1）	140団体	150団体	180団体
③図書館貸出冊数（年度）	243,736冊	247,000冊	250,000冊
④図書館の蔵書数	165,065冊	170,000冊	180,000冊
⑤「生涯学習の充実」に関する満足度	17.7%	20.0%	30.0%

※指標⑤ 市民アンケート調査

施策展開の方向

生涯学習社会の構築

- ◇生涯学習推進体制の整備充実
- ◇学習情報の提供と相談体制の充実
- ◇魅力ある学習機会の提供・拡充
- ◇読書活動への支援・充実
- ◇人材の育成

(1) 生涯学習推進体制の整備充実

生涯学習推進プランを策定し、ライフステージに応じた学習機会の創出や、生涯学習推進のための体制づくりを計画的に進め、学社連携や社会教育・生涯学習団体等の育成・支援を行い、連携・協働による生涯学習推進体制を充実します。

また、総合的な生涯学習関連施策を効率的・効果的に推進し、生涯学習の拠点となる生涯学習センターや公民館等既存施設の機能充実及び効率的な活用に努めます。

(2) 学習情報の提供と相談体制の充実

生涯学習センターを拠点として、生涯学習に関する各種情報を収集・整理し、学習内容・施設の状況など適切な学習情報の提供、学習の申し込みなどができる効率的なシステムの充実を図ります。また、収集した情報を活用した学習相談体制の充実を図ります。

(3) 魅力ある学習機会の提供・拡充

環境、健康、福祉問題など、市民のライフステージに応じた学習ニーズを的確に把握し、学習機会の充実と学習内容の多様化・高度化を図るため体系的な学習プログラムの構築に努めます。

また、少子高齢化、高度情報化の進展や余暇の増大に対応した生涯学習プログラムの検討や、

高度情報通信社会に対応するため、周南コンピュータ・カレッジ、NPO等を活用したパソコン教室の開催など、生涯学習のあり方について検討を進め、プログラムの開発・改良やPRの工夫に取り組みます。

(4) 読書活動への支援・充実

図書館を生涯学習拠点の1つとして、電子媒体などを含めた図書資料の継続的な充実を図るとともに、高度検索機能の整備やレファレンスサービスの充実など、市民が利用しやすい図書館となるよう、サービス機能の向上と環境整備に努めます。

また、活字離れが深刻化している中、子どもを中心とした読書の習慣の育成や読書相談などを展開するとともに、学校図書館や公民館等との連携を進めることにより、市民の読書環境の整備充実に努めます。

(5) 人材の育成

生涯学習の指導者としての資質を有する人材を、地域の中から発掘するとともに、自らが主体的に活動できる人材の育成や資質の向上に努めます。

また、そうした人材の積極的な活用やネットワーク化を促進し、生涯学習環境の充実に努めます。

主要な施策・事業例

	前 期					後 期	担 当
	19	20	21	22	23	24-28	
（仮称）生涯学習推進プランの推進	策定	推進					生涯学習課
生涯学習サポートバンクの充実	検討・実施						生涯学習課
生涯学習講座の充実及び情報提供	検討・実施						生涯学習課
図書館資料（蔵書）の充実							図書館
人材育成のための指導者の養成と確保							生涯学習課

重点目標2 彩り豊かな人づくりのために

個別目標2 スポーツ・レクリエーションの振興

基本方針

子どもから高齢者まで、市民のニーズに合わせてスポーツを楽しむことができる生涯スポーツやニュースポーツの普及、海に恵まれた特性を活かしたマリンスポーツ・レクリエーション活動を促進し、スポーツ・レクリエーション団体の育成と市民の自主的な参加を促進します。

また、2011年の山口国体開催に向けた取組みを強化するとともに、スポーツを通じた交流機会の充実、指導者の育成や施設の整備などを図ります。

10年後のまちの姿

- 子どもからお年寄りまで多くの市民が、スポーツに親しみ交流の輪が広がっています。
- 各種スポーツ施設を有効に活用することにより、幅広いスポーツ活動が行われています。
- 生涯スポーツやレクリエーションを通じて、市民の健康が守られています。

現状と課題

スポーツ・レクリエーションは、健全な心身の発達を促し、豊かな心を養う上でも重要な役割を果たすものであり、近年の健康志向や余暇時間の増大に伴い、健康づくりや体力づくりを行い、併せて地域社会で交流を深めたいというニーズは高まりをみせています。

本市では、これまでも競技スポーツだけではなく、生涯スポーツやニュースポーツの普及により、子どもから高齢者まで気軽にスポーツに親しむ土壌づくりが進み、スポーツ人口の増加と地域における自主活動の促進等により、総合型地域スポーツクラブが設立されるなど、各種の健康スポーツやレクリエーション団体の活動も活性化しています。

今後、より一層のスポーツ人口の拡充と地域スポーツの振興を図るため、各種体育施設の体系的な整備により、効率的な活用を図るとともに、スポーツ指導者の資質の向上や各種スポーツクラブの育成に努める必要があります。

また、市民ニーズに合わせたスポーツ活動等の充実をはじめ、市民が幅広く参加できる健康・体力づくり運動を推進するとともに、本市の特徴である豊かで穏やかな海を活かしたマリンスポーツの振興を図ることが必要です。

さらに、2011年には山口県において国民体育大会が開催されることから、本市の受け入れ態勢の整備や、競技選手の育成を支援することが必要です。

まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参考値 (平成28年)
①「スポーツの振興」に関する満足度	20.7%	25.0%	30.0%
②週1回以上スポーツをする人の割合	—	増加	増加

※指標①② 市民アンケート調査 (②は今後実施)

施策展開の方向

スポーツ・レクリエーションの振興

- ◇スポーツ・レクリエーションの推進体制の充実
- ◇生涯スポーツの普及とスポーツ意識の高揚
- ◇スポーツ・レクリエーション環境の充実

(1) スポーツ・レクリエーションの推進体制の充実

市民の健康維持や体力向上を図り、市民一人ひとりが主体的にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ・レクリエーションの必要性についての意識啓発を行うとともに、スポーツ・レクリエーションの推進体制を支える関係機関と連携し、普及促進を図るとともに、協働してスポーツの振興を推進します。

また、「スポーツ審議会」を設置し、「スポーツ振興計画」を策定することにより、総合的かつ計画的なスポーツの振興に努めます。

(2) 生涯スポーツの普及とスポーツ意識の高揚

市民一人ひとりの年齢や体力、興味に応じて取り組めるように、内容の充実について検討するとともに、スポーツイベントや教室の開催など、多くの人がスポーツを楽しみ、自主的なスポーツ活動を通して交流できる機会を充実します。

また、市民のスポーツへの関心を高めるため、学校におけるクラブ活動の活性化や関係団体及び指導者の育成・強化などにより競技力の向上を図ります。

(3) スポーツ・レクリエーション環境の充実

自然環境を活かした健康スポーツを推進するため、ハイキングコースなどの充実を図るとともに、レクリエーション活動の場として、冠山総合公園や周防の森ロッジ等の環境整備に努めます。

また、各種施設の管理運営体制の見直しと施設予約システムの充実を進めるとともに、既存施設の有効活用や学校施設の開放など、スポーツ施設の効率的な運営に努めます。

さらに、2011年開催の山口国体に備え、県との連携のもと、競技選手の育成及び指導者の体制を強化し、競技力の向上を図るとともに、開催地としての環境の整備を進めます。

主要な施策・事業例

	前 期					後 期	担 当
	19	20	21	22	23	24-28	
2011年山口県国民体育大会に向けた取組み	準備				開催		国体準備室
競技力向上に向けた支援							体育課
スポーツ振興計画の策定							体育課
各種スポーツイベント・スポーツ教室の開催							体育課 健康増進課
ニュースポーツの普及推進							体育課
総合型地域スポーツクラブの推進							体育課
指導者の確保・育成							体育課
学校体育施設の開放や施設管理の充実							体育課 教育総務課